



2010-2011 年度

国際ロータリー会長 / 2690地区ガバナー /

■平田ロータリークラブ 事務局  
〒691-0001 島根県出雲市平田町 2280-1 平田商工会議所 2F  
TEL: 0853-63-3232 / FAX: 63-5365 / IP: 050-5204-5816  
URL: <http://hirata-rotary.jp/> Mail: [office@hirata-rotary.jp](mailto:office@hirata-rotary.jp)  
9:00 ~ 17:00 (土・日曜・祝祭日 休局)

レイ・クリンギンスミス 会長 / 加藤 昇 副会長 / 飯塚 詔夫  
小林 完治 幹事 / 持田 稔樹 会計 / 黒田 昌弘

■ 例会プログラム ■

例会日	卓話者	演題
5月12日	黒田・持田・加藤昇・恒松	地区協議会報告
5月19日	森山俊雄 様	声楽について
5月26日	(財)平田青年会議所 理事長 大島淳司 様	東日本大震災について

■ 出席報告 ■

会員数	出席者数	欠席者数	出席率	前回補正出席率
37	29	8 (3)	85.29 %	4/21 90.61% 4/28 90.32%

■ 欠席者 ■

來間 / 園山 / 河原 / 木村 / 大島卓 (石原恵 / 山根 / 原光)

■ 来訪者 ■

森山ガバナー補佐・池淵グループ幹事

■ メークアップ ■

5/2 大島卓 (松江南)

5/9 原孝・田中久・福田・飯塚大・加藤昇・堀江・高砂・内田 (家庭集会)

\*\*\*\*\*

■ 次回例会受付当番 ■

(5月19日) 杉原朋之 / 原 孝士 / 堀江卓男

(5月26日) 大島卓爾 / 飯塚大幸 / 飯塚詔夫

■ 近隣クラブ例会情報 (メークアップを考えましょう) ■

(出雲) (松江) 赤字 例会変更

月	出雲中央 5/23	松江南 6/27
火	出雲	松江しんじ湖
水	大社 5/11 5/25	松江
木		松江東 6/23 6/30(休)
金	出雲南	

■ 会長挨拶 ■

例年ですと、此の度の連休は畑仕事に勤しんでおりますが、気温が低く夏野菜を植えるにはふさわしくなく、二歳になる孫守に励んでおりました。愛宕山に10回はあがり、7日には一畑電車に乗り出雲まで二人で出掛け「花まつり」に出会い、お釈迦様の誕生からの紙芝居を拝見する事が出来、大変良い連休を締めくくる事が出来ました。

ガバナー事務所より此の度の東北震災に寄せられた義捐金の使途について報告がありましたのでお知らせ致します。

ロータリーらしい支援活動として、公正にして、建設的であり、温かいプログラムである事。そこで2本柱として、災害遺児の教育環境支援プログラム、ファイブ・フォー・ワン・クラブプログラムとして非被災5クラブが1つのグループを作り、被災1クラブを物心両面で支えるプログラムです。災害遺児は4月22日現在、524名との事で、6月20日まで今年度の義捐金を募っているとの事です。長い支援活動が必要ですので、会員の皆さんの温かい思いを引き続き宜しくお願い致します。

■ 幹事報告 ■

1. 例会変更

○ 松江東 RC 6/23(木) 夜間例会 6:30~  
ビクター受付 定刻(12:00~12:30) 定例会場(H一畑)

2. 休会

○ 松江東 RC 6/30(木) 定款第6条による休会  
ビクター受付 なし

3. 5/15(日)大田 RC 創立40周年記念式典に会長・幹事出席致します。

4. 倉敷南 RC より創立50周年記念誌及びDVDをいただきました。

■ 委員会報告 ■

出席親睦委員会 : 5月の会員誕生・夫人誕生・結婚記念のお祝い

職業奉仕委員会 (内田委員長) :

職業宣言

クラブ広報委員会 : ロータリーの友

5月号の紹介者 : 田中浩 社会奉仕委員長



■ スマイル ■

森山ガバナー補佐・池淵グループ幹事 (一年間ありがとうございました。)

加藤昇 (森山勝ガバナー補佐、池淵グループ幹事、この一年間御指導ありがとうございました。)

大島治 (森山勝ガバナー補佐、池淵グループ幹事ようこそいらっしゃいました。)

恒松 (ガバナー補佐 森山様、グループ幹事 ようこそ。一年間ご苦勞様でした。牧野先生お久しぶりです。ご出席嬉しく思います。高砂様始め皆様に4月29日登山でお世話になりました。)

内田 (ガバナー補佐、グループ幹事ようこそ。高砂会員、旅伏山ありがとうございました。)

楨野 (旅伏山、都武自神社参拝無事で帰りました。同行のみなさんの支えに助けられたおかげです。特に高砂会員の気遣いにご心よりお礼申し上げます。)

高砂 (牧野会員、小村会員久しぶりにお元気なお姿安心しました。4/29無事旅伏山登山参加の皆様お疲れさまでした。)

田中久 (牧野会員久しぶりです。お元気な顔、拝見しました。)

飯塚大 (牧野先生、小村様の復帰をお喜びいたします。)

小村 (何とか帰って来ました。今後共宜しくお願い致します。入院中にはクラブからお見舞いをいただき、御礼申し上げます。)

釜屋 (早退いたします。すみません。)

■ ガバナー補佐ご挨拶 ■

ガバナー補佐 ごあいさつ 森山 勝 第4グループ ガバナー補佐



一昨年の春まだ浅い3月、2010-11年度の第4グループガバナー補佐として我が出雲中央RCより選任を受けた時は、「果たして大役が務まるだろうか？」と不安感に思ったのを今なつかしく思い出しています。

今年度創立37年目をお迎えの平田 RC さんは37代の加藤昇会長と持田稔樹幹事さんのコンビのもと、クラブ方針・目標を 1) 健康であらゆるクラブ活動に進んで参加しよう。2) 会員の増強と維持に、皆で努めよう。3) 委員会を魅力ある活発な活動をしよう。4) 会員の卓話を通して、楽しい例会にしよう。この4つの項目を揚げ努めてくれました。小林ガバナーの今年度のテーマ“Lets Join!” “進んで参加しよう”との呼びかけに正しく呼応された活動であったと思います。

平田 RC さんにおかれましては、これまでも数々の立派な継続事業を実践されてきています。

平田地区全戸に配布されています「ロータリー季節のたより」等は特筆すべき事でガバナーもよくおっしゃっていました「地域にロータリー活動を広げよう」にぴったりの事業であると思い、報告致しておきました。

この上は、創立40周年も間近い歴史と伝統ある素晴らしい平田クラブの会員の皆様方、それぞれが持ち合わせられますロータリーに対する認識を遺憾なく発揮されまして、クラブは元より地域により貢献されますことを節にお願ひ致し、ご期待申し上げます。

今年度の行事につきましては、①8月開催の「5クラブ合同親睦例会」②10月岡山に於いて開催の今年度の「地区大会」③本年2月松江に於いて開催の「第3・4・5グループ合同のIM」、いずれの行事に対しても、当平田RCさんには、多数の登録ならびに当日参加をいただきましたことに、心より厚く厚く感謝申し上げます。

今年度は小林ガバナーの公式訪問が大社RCと合同で8月18日と早く、従ってその前の「クラブ協議会」の開催も早く、その折にはガバナー補佐という立場にありながら池淵幹事とともにガバナー公式訪問と変わらぬ処遇を受け、とてもありがたく感謝いたしました。

最後にガバナー補佐を拝命してから1年と10ヶ月努めさせていただき、まもなくその任を終えようとしています。この間、素晴らしい沢山のロータリーの諸先輩の皆様を始めロータリアンの方々との出会い新しい仲間も得られ交流を通して多くのことを学び、ロータリーの奥深さを痛切に感じ、喜びとともに勉強させられた1年であったと思っています。

皆様方より賜りましたご理解・ご支援・ご協力に心より感謝申し上げます、お礼の挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。

■ ■ ■ スピーチ・例会行事 ■ ■ ■

## 「地区協議会報告」

### クラブ奉仕部門

黒田 昌弘

クラブ奉仕部門の討議テーマは、各部門とも共通したテーマで

①一地域の次の世代を担う青少年育成と彼らを指導する人材の育成一  
②この度の東日本大震災について我々は何ができるのか  
の2点で8部門に分けて討議し、その後、各部門のまとめの発表で進行していった。

①について：殆どのクラブが、内容は多少違ってもスポーツ等を通じて育成・指導している。また、人材の育成について、ロータクト・インターアクト及び大学生を交えて色々な施策をしていく。

②について：義援金は継続していくも、正しい情報を基に風評被害に惑わされることなく行動していく。また、震災孤児の基金を作る。

### 社会奉仕部門

持田 稔樹 (代理)

①一地域の次の世代を担う青少年育成と彼らを指導する人材の育成一  
H司会者； 病院に来る子供に名前を聞くと「〇〇」とだけ言う。次の質問にも同じ答え方をする。今後この子らが生きる力が付くのか心配になる。  
対応策； ガールスカウトやサッカークラブなど団体競技をさせて、生きる力を付けさせる。RCとして人と人がふれ合う場所を提供する。

A； 出前講座を留学生やインターアクトの方にしてもらい、学校で教えられない事をRCで企画する。

B； 子供の教育がうまくいかない問題点は、大人そのものが良くないので。学校へ「朝顔の種」を配布して、植物の観察日記を付けさせ、生命力を勉強させている。

②この度の東日本大震災について我々は何ができるのか  
H司会者； 同じ場所で同じような復興をすれば、また砂の城を作るだけである。もっと文明のあり方を考える。RCでもっと復興に対する話し合いをする必要があるのではないか。

A； 義援金を送った。ガバナーを中心にRCを通じて被災地の希望や要望を聞く。

B； RIなどがもっと早くトップダウンすれば良かった。

③エネルギーについてどう思うか？

風力・火力共にエネルギーの使い方について各自がもっと考える。

原子力発電をこれからどうするか、RCなりに考えてみる。

### 国際奉仕部門

加藤 昇

国際奉仕部門として、倉敷クラブの橋本パストガバナーのお話を1点お話しします。

倉敷からイタリアのナポリに奨学生として出掛けた縁で、ナポリロータリークラブから東北震災に対して義捐金の申し出があり、岩手の被災されたクラブとマッチングで10万\$の義捐をされたとの事です。

ロータリーの持つ手法と、国際奉仕が見事に結実されたお話でした。

### ロータリー財団部門

恒松 克己

青少年への指導、指導者育成のプロジェクトは多くのクラブで行われています。この活動は新地区補助金の利用の条件である教育、環境などに適合するため、各クラブとも新地区補助金に申請され、本年度から地区審査に適合したクラブに支給されています。平田RCでは最近活動がなく、次年度では新地区補助金利用をと財団委員会から次年度会長に提案しましたが、地区からの連絡によれば、平田RCは過去のロータリー財団年次寄付が目標に達していないために希望に添えないと連絡がありました。RCの活動は継続していることから、その年度の年次寄付目標達成が将来の平田RCの活動に影響があることを考えてください。

東日本大震災の件では、地区からの義援金募集のほかにも東北地方に姉妹クラブのあるクラブでは、早い時期に多額の送金がされています。当日の意見では、RC ができることは何かにつき、今後長期にわたる支援として孤児になられた子供さんへの奨学金のために基金を作るとか、米山奨学金が利用できるように超法規的な考え等がありました。各クラブで関心を深める活動も求められました。